

2023 年度

NACS 中部支部 活動報告書

I. 2022 年度活動報告	… 1～19
1. 活動概要	
2. 各委員会より	
3. 各分科会より	
4. 各研究会より	
II. 2022 年度予算執行状況	… 20
III. 2023 年度運営方針、予算	… 21
IV. 賛助会員・支部会員数	… 22
V. 2023 年度運営体制	… 22

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 中部支部

2023 年 6 月

I. 2023 年度活動報告

はじめに

3年余り続いたコロナ禍でしたが、2023年5月に感染症5類に変わったことをきっかけにして対面による会員活動が徐々に広がってきた1年でした。

1. 活動概要

中部支部の活動を「消費者啓発と人材育成」「企業・行政との連携」「支部運営と会員の相互研鑽や交流」「会員への情報提供と広報活動」の4つに分け、以下報告いたします。

詳しくは各委員会、分科会および研究会からの報告をご覧ください。

1-1. 消費者啓発と人材育成

消費生活全般についての講座、セミナー等を開催して行う啓発活動及び人材の育成を行う事業を実施しました。詳しくは学校教育報告、総務委員会報告を参照

(1) 学校講師派遣事業

2件講師派遣依頼があり会員講師を派遣しました。

- ・7月5日、名古屋大学教育学部、
キャリアデザイン研修「若者の消費者トラブルとその対処法」
- ・10月10日、豊田市立五ヶ丘東小学校、「食品ロス削減 ～自分で出来ること～」

(2) 一般講師派遣事業

3件講師派遣依頼があり会員講師を派遣しました。

- ・9月21日、稲沢市経済環境部商工観光課、
『持続可能な消費の実践「エシカル消費」について』
- ・11月20日、社会福祉法人 名古屋市名東区社会福祉協議会、
悪質商法の寸劇「消費者トラブルから身を守ろう」
- ・12月14日、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、
「私たちにできる環境取組ーデコ活を推進しよう」

(3) 消費生活アドバイザー受験者支援

- ・10月29日、名古屋市内にて2次試験(小論文)攻略法等について受験者を対象にアドバイスを
実施しました。

1-2. 企業・行政との連携

企業や行政と協働、連携し消費者利益と企業活動の調和を目指した事業を実施しました。詳しくは事業委員会、総務委員会報告を参照

(1) Amazon 事業 「若者のネット取引 お断り LINE スタンプ」 開発

深刻化する若者のネット被害防止のため、断りづらい勧誘や契約解除にもスマートに対応できるように工夫した、LINE スタンプ(有料)を本部ホームページにリリースしました。

LINE スタンプのダウンロードはこちらのURLまたは二次元コードより。

<https://line.me/S/sticker/23929450>

※通信費のほかにコンテンツ料金がかかりますが、スタンプ収益はNACSでは一切

受領致しません



(2) 一般財団法人日本規格協会事業「NACS 標準化セミナーin 中部大学」

大学生を対象とした標準化セミナーを5年連続で開催しました。

(3) Google 事業「シニアの ICT リテラシー向上啓発」

ICT 啓発リーダー育成ワークショップ受講者のフォローアップミーティングを開催しました。

(4) 日本産業協会事業「消費生活アドバイザー有資格者交流会」

消費生活アドバイザーの有資格者が集う場を設け、NACS の紹介をおこないました。

- (5) ㈱ジャパンガスエナジー事業「トークコンテスト審査員」派遣
LP ガス販売業者の営業トークを競い合うコンテストの審査員として会員 2 名を派遣しました。
- (6) 愛知県電機商業組合「消費者懇談会」参加
地域電気小売業者組合との懇談会に会員 2 名を派遣しました。
- (7) 行政イベントへの参画
 - ・三重県主催「三重県消費生活展」出展 5月21日、フレンテ三重
 - ・岐阜市主催「岐阜市消費生活展」出展 11月18日、カラフルタウン岐阜
 - ・名古屋市主催「名古屋市消費生活フェア」出展 11月18日、オアシス 21
- (8) 行政関係委員
石川県、静岡県、名古屋市など自治体の消費生活審議会委員として消費者行政に協力しました。

1-3. 支部運営と会員の相互研鑽や交流

- (1) 支部大会
6月3日、名古屋市内ホテルにて、他支部からの参加も含め 61 名(内、オンライン 9 名)のご参加を頂き開催しました。
恒例の講演会は、講師にシニア生活文化研究所代表理事 小谷みどり氏を迎え、「最後まで自分らしく ～終活のすすめ～」と題しご講演をいただきました。
- (2) 運営委員会・全体会議の開催
支部活動の円滑な運営のため月 1 回開催を基本として、運営委員会を実施しました。また、年度末には運営委員と分科会代表、副代表を交えた全体会議を実施しました。
詳しくは総務委員会報告を参照
- (3) 分科会活動
愛知県を除く 6 県に 4 分科会があり地域ごとに活動を進めました。詳しくは各分科会報告参照
- (4) 消費生活に関する研修会・自主研究会の開催
会員の学ぶ意欲に応えるため研修会を開催すると共に、自主研究の場としての研究会へ活動資金を援助しています。詳しくは研修委員会、各研究会報告を参照
 - ・研修会では対面およびオンラインを活用し 4 回の研修会を開催しました。
 - ・自主研究会は、名古屋市を拠点に 3 つの研究会が活動しています。
研究会 ACT(1995 年～)、食生活研究会(1999 年～)、AD・CS 研究会(2003 年～)
- (5) 合格祝賀会&仲間づくりの会
消費生活アドバイザー新資格者への NACS 活動紹介と NACS 会員との交流会を開催しました。
 - ・2024 年 3 月 23 日、名古屋市ウイנק愛知、新資格者 8 名
 - ・河上会長ビデオメッセージ、支部活動紹介、研究会活動紹介 等

1-4. 会員への情報提供と広報活動

- メーリングリストおよび会員情報誌セントラルC+により会員への活動情報を提供しました。
また、支部ホームページを活用し一般の方への活動を紹介しました。
詳しくは広報委員会、会員活動委員会報告を参照
- (1) メーリングリストによるタイムリーな情報提供
 - ・支部での研修会や他団体主催セミナーなど、開催に合わせて募集やご案内を配信しました。
また、他支部会員向けには本部マイページを活用してご案内しました。
 - (2) 会員情報誌「セントラルC+」の発行
 - ・支部事業と共に各分科会、各研究会での活動を紹介しました。発行は年 4 回。
 - (3) 支部ホームページの管理
 - ・行事スケジュールの公開、新着情報の更新および会員ページへの情報掲載を実施しました。

2. 各委員会より

会員活動委員会

会員活動委員会は、おもに会員情報誌セントラルC+の作成と支部行事や分科会・研究会等の活動報告のホームページ原稿作成を担当しています。また、2023年度は他の委員会と協力し「合格お祝いと仲間作りの会」や更新講座の際の有資格者交流会の運営にも携わりました。

セントラルC+は、2019年10月発行の秋号から電子化を進め、2022年春号より電子版のみとなりました。完全電子化に至るまでには、紙媒体のセントラルC+郵送時に「メールリスト登録のお願い」の文章を同封したり、支部会員から知り合いや職場の同僚としての立場から直接登録の呼びかけをしていただいたりしました。そのような地道な活動が功を奏し、現在では約9割の支部会員がメールリストに登録しています。また、都合によりメールリストに登録をしない会員もホームページからC+閲覧は勿論、中部支部の情報が得られるよう配慮しています。

C+は、電子化したことで写真やイラストがカラーで見られるようになりました。また、リンク先に飛べば活動内容や見学先などについて深く理解できるようになりました。会員からは、必要なページを印刷してじっくり読んでいる・写真がカラーになって生き生きと活動内容が伝わってくる・いつでもスマホで見ることができるとの感想をいただいています。また、自発的に執筆していただける研究会・分科会や喜んで執筆していただける会員が増えたようにも思います。

今後は中部支部会員の消費生活アドバイザーとしての活動や思いをC+に掲載したり、会員の生の声を拾ったりして、会員が参加したくなるNACS中部支部の活動を模索していきたいと思っています。

・セントラルC+

春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）、冬号（1月）と年4回発行しています。



2023年度冬号の表紙です。

行事の写真やNACSで作った教材のお知らせも掲載しています。季節に合わせたイラストや、会員が撮影した「とっておきの一枚」を掲載することも。

2ページ以降は、見学会・研修会への参加報告や分科会・研究会の活動報告など、消費生活に関わる情報満載！

最近の分科会・研究会の活動およびその報告は超力作。中部支部会員の活躍ぶりや知恵・研鑽・ほっこりする話の数々が盛り込まれています。

過去の研修内容の復習や出席していない行事の情報取得ができます。

広報委員会

広報委員会では、中部支部ホームページの管理、Zoom 会議設定、編集、メーリングリストの管理・運用等を担当しております。

中部支部会員、会員外への広報として、ホームページは重要なツールです。2023 年度は、定期や随時に発生する情報を、タイムリーにホームページに掲載できるよう、複数名がホームページ更新できる体制の構築や、分かりやすいマニュアル作成にも取り組んでまいりました。2024 年度も継続して取り組んでまいります。

昨年のアンケート結果より、現状、ホームページを単独で閲覧する人の割合は少なく、メーリングリストの案内からの詳細確認でホームページを閲覧する人が圧倒的に多い状況にあることも認識しています。現状を踏まえたホームページ活用方法について継続検討してまいります。

ご意見やご要望等がございましたら、ぜひ、広報委員会までメールにてお寄せください。よろしくお願いいたします。

広報委員会の連絡先 kouhou@chuubu.nacs.or.jp

(1) メーリングリスト

新規登録・アドレス変更は随時受け付けておりますので、中部支部会員ページの「[メーリングリスト](#)」よりお申し込みください。

- ・現在登録者数 243 名（総会員数 262 名）
（愛知 141 名、静岡 36 名、三重 24 名、北陸 19 名、岐阜 20 名、他 3 名）
（2024 年 3 月時点で、全会員数の 92.7%の方に、ご登録頂いております。）
- ・配信状況 約 113 件/年

(2) ホームページ

トップページは、カレンダーで一か月の活動を一目で確認できます。事業・研修の申し込みは、申し込みフォームから簡単に行っていただけますので、ぜひご活用ください。

主な更新内容 2023 年 4 月～2024 年 3 月

コーナー	時期	更新件数	内容
新着情報	随時	6 件	情報掲載
これまでに開催した事業	随時	13 件	情報掲載
会員向け新着情報	随時	10 件	情報掲載
活動カレンダー	都度	Zoom 予約の登録	39 回
運営委員会議事録	毎月	11 回	PDF ファイルの登録
会員情報誌セントラル C+	四半期	4 回	PDF ファイルの登録
全体会議議事録	2・3 月	2 回	PDF ファイルの登録
支部大会告知	4 月		PDF ファイルの登録ほか
トップページ画像	不定期		適宜差替え

中部支部会員、会員外への広報として、ホームページは重要なツールです。ホームページでは、一般向けに、行事予定、募集案内、活動概要などを掲載し、会員限定ページには、季刊誌 C +、運営委員会議事録などを掲載しています。それぞれのページの利用目的を整理した上で、より良いホームページ活用方法について継続検討してまいります。

2024 年度には、本部主導のホームページ改修予定もありますので、会員同士のコミュニケーションが取れるような仕組みの検討、分科会や研究会の活動成果について、会員内、会員外の行政や企業を含めた一般の方へアピールできたり、成果物の活用もしやすくなったりするような仕組みを、運営委員の皆様のご意見も聞きながら検討してまいります。

研修委員会

2023年度におきましては、対面2回、オンライン2回の計4回の支部研修会を実施いたしました。

(1) 第1回研修会 「そんぼ勉強会 交通事故と自賠責・自動車保険」 (参加者数：19名)

2023年8月26日(土) 15:00～16:30、名古屋市消費生活センター消費者研修室にて、一般社団法人日本損害保険協会 鈴木勝彦氏を講師にお招きし、自賠責保険と自動車保険について解説していただきました。受講者からは「車の保険についての知識が深まり、自分の加入している保険内容についても確認してみようと思った」「損害保険金の不正請求を見抜くチェック機能が必要だと感じた」などの感想が寄せられました。研修会終了後は「ゆるゆる懇親会」と称して、会員同士でしばし歓談する時間を設けました。

(2) 第2回研修会 「信じる者は、ダメされる。ーダメシの手口とはー」 (参加者数：115名)

2023年9月23日(土) 13:30～15:30、Zoomを利用したオンライン開催にて、講師に詐欺・悪質商法ジャーナリストの多田文明氏をお招きし、最新の詐欺・悪質商法の手口についてお話をうかがいました。テレビ番組出演や著作執筆など多方面でご活躍の多田氏が講師ということもあり、全国の他支部会員に加え、会員以外の一般の方のご参加もあり、多数の方に受講していただきました。受講者からは「騙されている人の家族の気持ちが理解できた」「強い信念があれば断れると思っていたが、いったん組織に関わると抜けるのは大変だとわかった」などの感想が寄せられました。

(3) 第3回研修会 「食料自給と安全保障」 (参加者数：20名)

2023年11月25日(土) 15:00～16:30、名古屋市消費生活センター消費者研修室にて、講師に元愛知県衛生研究所衛生化学部長、薬学博士で現在は大学講師を務められる猪飼誉友氏をお招きし、「食の安全保障」という視点から、現在の日本が抱える課題をわかりやすくお話していただきました。受講者からは「具体的なデータをもとに説明していただき、自給率を上げることがいかに難しいかわかった」「次はゲノム編集食品についても解説していただきたい」などの感想が寄せられました。2022年度に引き続き、講義後は活発な質疑応答が行われ、有意義な学びの場となりました。



(2) 第4回研修会 「リサイクル・分別・ごみ減量化の必要性と非効率性・過剰性」 (参加者数：40名)

2024年2月17日(土) 14:00～16:00、Zoomを利用したオンライン開催にて、講師に北海道大学名誉教授の松藤敏彦氏をお招きし、家庭ごみの「リサイクル・分別・減量化の必要性と非効率性・過剰性」をテーマにお話をうかがいました。受講者からは「本末転倒の分別やリサイクルに費用や手間を費やしていることの非合理性がよく理解できた」「自分の自治体のデータが紹介され、市民でも知らないことが多く勉強になった」「家庭系有害廃棄物の回収について、不適切な処理(環境破壊や人的被害)がされているのではと感じた。気付きの多い研修だった」などの感想が寄せられました。

2024年度もぜひ多くの方に支部研修会にご参加いただきますようお願い申し上げます。「この講師の話聞いてみたい」「こういったテーマで研修会を開催してほしい」などのご要望がございましたら研修委員会までお寄せください。

研修委員会の連絡先：kenshuu@chuubu.nacs.or.jp

(本部事業) 学校教育

2023 年度実績

NACS では本部事業として「講師派遣事業」を行っています。2023 年度の中部支部での講座の実施は以下の通りです。いずれも、オンラインではなく対面での実施が求められました。

実施年月日	主催者	講座名	受講生	実施者 (グループ)
2023 年 7 月 5 日	名古屋大学 教育学部	キャリアデザイン演習 「若者の消費者トラブルとそ の対処法」	60 名	北川住江 高木友美
2023 年 9 月 21 日	稲沢市経済環境 部商工観光課	『持続可能な消費の実践 「エシカル消費」について』	14 名	浅野智恵美
2023 年 10 月 10 日	豊田市立五ヶ丘 東小学校	食品ロス削減 ～自分で出来ること～	15 名	山田勲
2023 年 11 月 20 日	社会福祉法人 名古屋市名東区 社会福祉協議会	悪質商法の寸劇消費者トラブ ルから身を守ろう	30 名	研究会 ACT
2023 年 12 月 14 日	社会福祉法人 愛知県 社会福祉協議会	「私たちにできる環境取組ー デコ活を推進しよう」	30 名	浅野智恵美

2024 年度実施計画

現時点で本部から割り当てられる講座実施目標数は未定です。2024 年度におきましても、あらゆる状況の想定を踏まえ、引き続きオンライン教材の利用の促進にも努めてまいります。

今後は会員に本事業についての周知を行い、地域からの講座等のニーズを引き出し開拓していただけるような試みも実施できればと考えております。特に、学校教育の中でも、児童や生徒及び学生向けだけに限らず、PTA や先生向けの講座なども提案戴けるような取り組みを行っていきたいと考えております。そのためには、様々なキャリアをお持ちの会員の皆様から、積極的に講師としての活動機会に手をあげていただき、NACS ならではの消費者教育を展開していただきたいと思っております。そのために講座の見学等も可能な限り実施できればと考えます。

事業委員会

2023年度は、事業委員会に係る事業を3回開催しました。それぞれの事業の実施概要を報告いたします。

(1) 「NACS 標準化セミナーin 中部大学」を開催しました。(12月13日・12月20日開催)

～標準化って何だろう～「あなたの知らない標準化の世界」<標準化のたねを探そう>のテーマで、「NACS 標準化セミナーin 中部大学」を開催しました。セミナーは、令和5年度経済産業省委託事業として、中部大学・名古屋市・NACS 中部支部のコラボレーションで開催しました。中部大学での標準化セミナーは、5年連続の開催となりました。今回は大学の講義方法に合わせて、4年ぶりの対面形式でのセミナーとなりました。

セミナーのねらいは、「標準化について学んできた幅広い知識を活用し、グループワークで更に理解を深め、標準化の重要性・必要性を学ぶ」ことと「消費者視点による標準化のたね探し、標準化することによる課題解決方法と期待される効果を検討する」ことの2点でした。

セミナー対象者は、中部大学経営情報学部で「経営環境」カリキュラム(標準化について学ぶ全15回のカリキュラム)を受講する2年生中心の95名でした。また、ファシリテーター兼コメンテーターとして、NACS 中部支部より8名が参加しました。

プログラムは、前半12月13日(水)90分が、…第1部…講義①「SDGs とエシカル消費～目指す未来と消費生活～」(講師:名古屋市)講義②「～標準化って何だろう～あなたの知らない標準化の世界」(講師:NACS 担当) …第2部…グループワーク「標準化のたね探しと解決策について」後半12月20日(水)90分が、…第3部…グループ代表者による各グループ別発表・グループ別コメント及び全体講評・参加者全員による各グループ別評価の3部構成でした。

セミナーは「経営環境」カリキュラム全15回の12回目と13回目を活用した2週連続2回完結にて、中部大学242A教室での開催となりました。

学生さんたちは熱心に講義を聴き、またグループワークには、NACS と名古屋市のメンバーがファシリテーターとして、各グループの積極的な討議に加わりました。更にグループ代表者発表会では、NACS と名古屋市のメンバーはコメンテーターとして参加し、発表内容の評価も致しました。

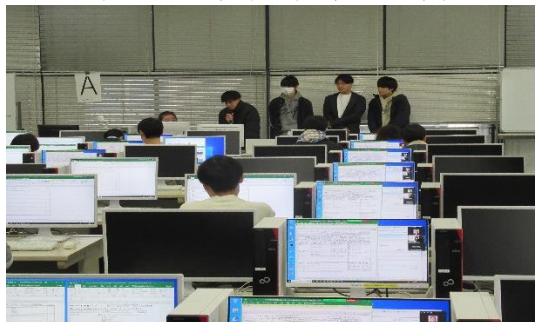
グループ代表発表会では、コロナ禍の影響による新しい生活様式・消費者ニーズの変化に応じるための視点、デジタル化推進・AI活用視点からの内容が多かった。例えば「旅行者用救急対応アプリの導入」「食品工場衛生管理へのサーモグラフィの導入」「傘の置き忘れ防止アプリの導入」など、身近なモノ・コトに関する導入可能だと思われるものが多く提案されました。

受講後のアンケート結果では、回答者のほぼ全員が「参加してよかった」「標準化について理解が深まった」と答え、セミナーの満足度は高かったと思われました。参加したNACS 会員も、学生さんたちとの討議もあり、大変有意義なセミナーとなりました。

(グループワークの1コマです)



(グループ発表会の様子です)



(2) 「令和5年度名古屋市消費生活フェア」へ ブース出展しました。(11月18日開催)

「エシカル消費～誰でも気軽にいま、はじめよう!～」をテーマとして「令和5年度名古屋市消費生活フェア」～なごやエシカルフェア☆2023～が名古屋市の主催で開催されました。

人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」をはじめとした消費生活に関する様々な知識を、展示や動画、体験ブースなどを通して楽しく学んでもらうイベントです。

NACS 中部支部は、対面型展示ブースに出展しました。出展準備から開催当日の運営は、AD・CS 研究会のメンバーが実施しました。定例会ミーティングを通して、役割分担による出展コンテンツ作成などの準備作業を行いました。

NACS 中部支部は、「食品ロスを減らそう！」のタイトルで出展しました。来場者に、本来なら食べられるのに廃棄される「食品ロス」への関心を持っていただくため、食品ロス削減は最近の物価高に対する防衛策にもなることや、食品ロスを減らす具体的なアイデア、消費期限と賞味期限の違い、フードドライブの活用など、消費生活に直結する内容の展示を行いました。17名の運営メンバーは、交代で展示物などの解説をし、クイズとアンケートの回答収集も実施しました。クイズとアンケートの回答数は、177件でした。回答者の約9割が食品ロス削減について理解できたと答えていた。

フェアは、11月18日(土)午前10時30分～午後4時に「オアシス 21 銀河の広場」で開催され、59団体が参加しました。当日の会場全体の来場者数は、8000人となり大盛況でした。

(出展ブースの画像です)



(出展ブースの内容です)



(3) 「2023年度消費生活アドバイザー有資格者交流会」を開催しました。(5月27日開催)

2023年5月27日「2023年度消費生活アドバイザー資格者更新講座」が、(一財)日本産業協会により、名古屋市IMYホール6階第3会議室にて開催されました。更新講座の開催に合わせて、同日同ホール隣の第2会議室を会場として「2023年度消費生活アドバイザー有資格者交流会」を開催しました。交流会は(一財)日本産業協会との共催で、NACS 中部支部として2回目の開催となりました。

交流会の目的は、①更新講座受講者に有資格者同士の情報交換など「交流の場」として活用してもらう、②参加者の日常活動や活動する上での問題点・課題などを聴きあう、③更新講座受講者に広くNACSを知ってもらい、親しみを持ってもらう、の3点でした。

会場では、NACSの紹介・中部支部の各委員会の活動紹介・各分科会と研究会の活動紹介などをポスター掲示し、スタッフが丁寧に説明しました。また、会場に入場しやすいムードづくりや、来場者がリラックスして余裕を持って話ができる雰囲気になるような演出とスタッフ対応にも工夫しました。

来場者のご意見やアンケートでは、NACS 会員・非会員ともに「交流会に参加して良かった」「次回も参加したい」という肯定的な意見が多数となりました。

交流会は、11時から14時までの3時間の開催でしたが、来場者は、約40名余りとなり、短時間の開催としては盛況な交流会となりました。

(交流会会場の様子です)



(交流会の1コマです)



総務委員会

総務委員会は、恒常的に支部活動の円滑な運営を支援する活動を展開しています。
2023年度は、コロナの5類移行を睨みながら、オンライン、対面を交えた活動を展開致しました。

(1) 運営委員会等定例業務について

運営委員会は、ほぼ毎月11回開催。オンライン会議7回、対面での会議を4回実施し、運営委員間の意思疎通を図りました。研修会など他行事との併催も4回行い効率的な運営を行いました。

運営委員会の議論については中部支部HP会員ページに2015年度以降の議事録を掲載しておりますので是非ご覧ください。

また、支部大会は、6月3日に昨年同様会場（アイリス愛知）とオンラインによるハイブリッド方式で開催。支部活動報告書は例年通り作成し会員に郵送配布致しました。

なお、例年支部活動報告書は、クロネコDM便を利用し会員へ郵送しておりましたが、クロネコDM便が今年1月末で廃止され、配送手段をゆうメール又は定形外郵便に変えざるを得なくなり、今後は郵送料が大幅に増加する見込みとなりました。これを機に24年度より会員郵送分については電子化に移行させていただくことといたしましたのでご了解いただきますようお願い申し上げます。分科会含め、行政など外部への活動紹介、支部大会出席者の資料用冊子は準備させていただきます。

(2) 全体会議

例年、分科会の代表と運営委員、代議員が参加し、年度の支部及び分科会の活動総括、今後の支部運営について活発な意見交換を行い、新年度の活動方向性を確認しています。

今年度は3月23日(土)にウインクあいちにて対面で開催致しました。

今回の全体会議では、支部長、各分科会、各委員会より今年度の活動振り返り、来年度活動方針、事業提案、本部・支部への要望について報告を行い、それらを基に今後の活動に向けての意見交換を行いました。

各分科会、委員会からは、分科会の壁を越えた合同例会の実施、自治体開催の有名講師の講演会を勉強会に利用するなど、オンライン、対面を取り混ぜた多様な活動の報告がありました。

意見交換では、活動を支える人材開発、ICTリテラシー向上意欲の高揚化、分科会、支部の壁を越えた活動ができる仕組みづくり、相続・不動産問題関連の新たな研究会設立提案などの問題提起がされ、それらの対応について活発な意見交換が行われました。

これらの意見を24年度以降の活動に生かすように活動を進めてゆきたいと思っております。

(3) 消費生活アドバイザー受験者支援、入会促進活動

・2次試験相談会の開催

10月29日に昨年に引き続き対面で実施。受講者10名。アンケート結果ではネガティブな回答はなく概ね好評でした。しかし、本相談会を知ったきっかけとして“HPを見て“という方が全体の2割程度とかなり低く、受講者数が昨年(9名)今年と極端に減少し、本相談会の認知活動、開催手法(対面orオンライン開催)等課題が残りました。

関係者で検討の結果、2次試験相談会出席⇒新資格者歓迎会での入会勧誘⇒NACS入会という以前の入会パターンが弱まり、本部の試験対策講座の充実もあるため、24年度は休会として影響有無の見極めを行うことと致しました。

・合格お祝いと仲間作りの会の開催

3月23日(土)に中部支部主催の合格祝いと仲間づくりの会を対面で開催しました。当日は8名の新資格者の皆さんと、活発な意見交換ができ出席者のうち5名が入会をされました。

(4) シニアのICTリテラシー向上啓発活動

ICT啓発リーダー育成WS受講者数はある程度になり、教材も充実した状況ですが、ICT啓発リーダーによるICT啓発WS開催(垂直展開)の活性化がうまく進まないという課題への対応を進めました。支部では2月下旬にICT啓発リーダー育成ワークショップ受講者のフォローアップミーティングを開催しました。今後は他支部の状況等を解析し次年度以降の活動活性化に繋げたいと思っております。

総務委員会の連絡先 soumu@chuubu.nacs.or.jp

3. 各分科会より

静岡分科会 2023-2024

代表 河合 康成

2023 年度活動報告

- (1) 活動組織：分科会代表 河合康成、副代表 山岡美須永、会計 山下裕夫
 地区役員 東部：森脇和子、中部：山田美代子、西部：和田喜久男
- (2) 活動方針：「つなげよう・広げよう、交流の輪を！」（継続）
- (3) 行事内容

当初計画した例会6回を予定通り実施（Zoom方式：4回、簡易的なハイブリッド方式：2回）
 Zoom方式中心の例会活動の4年目となるが、当会の例会参加・視聴数は、前年比10%程度減少

行事	内容	結果	
第1回定例会【Zoom】 6月4日(日)	演題：「経済記事の読み方、活かし方」 講師：静岡県金融広報アドバイザー FP技能士1級 真覚良信氏 講座後のFreeTalk：フリーテーマ	視聴者も新聞紙面を赤ペンで囲みながら、経済記事を解説頂いた。 分科会11、支部4、計15名	
第2回定例会【Zoom】 7月23日(日) (分科会10、支部2 計12名)	演題：「金融犯罪の手口と対策」 講師：静岡県銀行協会 専務理事 事務局 長 天野崇志氏 FreeTalk：資格取得の理由 or フリー	最近の”オレオレ”詐欺は、手口がより巧妙になっている実態を開 設頂いた。 分科会10、支部2 計12名	
三重分科会合同例会	第3回定例 【Zoom】 9月10日(日)	話し合いテーマ： 「会に望むことと現状課題など」 FreeTalk：フリーテーマ	ブレイクアウトルームを使って、 支部運営上の悩みや今後の展望に ついて、20分程話し合いました。 静岡7、三重11、支部1 計18名
	第4回定例会 11月18日(土)	令和5年度名古屋消費生活 フェア見学会 (於 オアシス21 銀河の広場)	13名での昼食会後、各自フリーで のフェア見学を行いました。 静岡2、三重11 計13名
第4回定例会(その2) 【Zoom】 11月13日(日)	会員の地域貢献活動の紹介 勝又長生氏：地区里山環境保全 杉山あつ江氏：民生委員 山岡美須永氏：災害ボランティア活動 FreeTalk：フリーテーマ	地域活動に勤しんでおられる3名の方(東・中・西部 各1名)から、 日頃の活動内容を紹介頂いた。 分科会12名	
第5回定例会 【簡易的なハイブリッド】 1月14日(日)	演題：「『介護』について考える」 講師：静岡県介護福祉士会 会長 水野公智氏 FreeTalk：フリーテーマ	介護は、暗いイメージから、生活の 継続性、自己決定の尊重、残存 能力の活用へ移行中とのこと。 分科会13、支部1 計14名	
役員会 2月12日 【Zoom】	来年度活動体制・方針【案】を策定した。(役員7名)		
2023年度総会 【簡易的なハイブリッド】	2023年度の活動報告及び次年度の体制・活動方針について、承認を得た。		
第6回定例会 3月10日(日)	演題：「最近の少年犯罪」 講師：静岡県警人心安全少年課 近田警部・太向警部補	「闇バイト」などの少年犯罪の実 態を解説いただいた。 分科会14、支部2、非会員8 計24名	

- (4) シニア向け ICT 普及啓発事業 (山岡・和田・河合) <本部・中部支部関係>
 消費者庁動画教材実用化事業の一環として、支部要請に基づき、本部ICT世話人会議(11月)
 及び支部(2月)にて、1月本部提出の進行表・講座資料をもとに模擬講座実施
 テーマ：「ネットショッピングを安全に利用するために」

2023 年度活動報告

- (1) 活動組織：代表 陰地康行、副代表 田中睦、会計 前田芳子
 (2) 活動方針：会員の関心があるテーマを取り上げ、知識向上につなげるとともに地元三重について知り、楽しく参加しやすい分科会活動を目指す。
 (3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第 1 回 定例会	5 月 20 日(土) 10 時～12 時 アスト津 5 階 研修室 B	法律講座 講師：大町孝之氏 津法務局供託課	法定相続証明、自筆証書遺言保管制度、相続登記制度改定について。 参加者：11 名
第 2 回 定例会	7 月 15 日(土) 10:00～12:00 アスト津 4 階 会議室	「景品表示法の改正」勉強会 講師：池内裕司氏 公取委中部事務所	参加者：12 名 ネット販売における景表法その注意点、改正のポイントなど講義いただく。
第 3 回 定例会	9 月 10 日(土) 13:30～15:00 ZOOM による 定例会	静岡分科会合同例会 初の取り組み テーマ：お互いの会とメンバーを知る 静岡分科会主催	参加者：三重 11 名、静岡 8 名 Zoom のブレイクアウトルーム機能を使って 3 グループに分け討議を行う
第 4 回 定例会	11 月 18 日(土) 10:00～15:00 静岡分科会と 合同見学会	名古屋で合同ランチミーティングを実施 午後から名古屋市消費生活展を見学。	参加者：三重 11 名、静岡 2 名 名古屋市消費生活展で各ブースを見学し大変勉強になりました。
第 5 回 定例会	1 月 20 日(土) 10:00～13:00 アスト津 5 階 研修室 B	三重短期大学出前講座 講師：三重短期大学食物栄養学科助教授 福安智也氏 新年互礼会開催。	参加者：12 名 腸内細菌叢とは？題して話題の腸内フローラと腸内環境を整える。などを講義いただいた。
第 6 回 定例会	3 月 16 日(土) 10:00～11:30 Zoom 会議にて 実施。	今年度の反省と来年度の計画	参加者：11 名

2023 年度を振り返って

専門知識アップデートとして各回ごとにテーマを決めて勉強会と地元の発見を進めてきました。今回他県の分科会との交流を計画 ZOOM による定例会や名古屋市消費生活展の見学を実施しました。参加者数の減少など上手く行かない事もありました。次年度も同様なテーマに沿って、さらに違った視線からも検討して進めて参ります。

2024 年度活動方針

本年度も会員各位のスキルアップと地元の文化や歴史探究を基本に、他分科会との交流会や会員内での自主勉強会も実施し明るく楽しく活動し全員参加を目指します。

2023 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 山田圭子、副代表 清水美和子、会計 北川住江

(2) 活動方針：メンバーの持ち味をさらに発揮していく幅広い活動を目指す。

自身の資質向上はもとより、人生を振り返りつつ、未来を拓く活動を深化させていく。

WEB 会議や対面活動を組み合わせ、メンバーの絆を強固にしていきたい。

(3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第 1 回 定例会	4 月 9 日(日) 10:00~15:00 瑞穂市	・観光農園「はなのかファーム」訪問 クラウドファンディングを通し、消費者と直接つながる現場を訪問し、懇談	・消費者とのふれあいを通し、生産方法や種類を拡げた手法をお聞きした。また遠来のお客さままでにぎわっていることを目の当たりにできた。
第 2 回 定例会	6 月 25 日(日) 10:00~12:00 ハートフルスクエア G	・支部大会報告 ・年間計画	・支部大会資料と講演会の概要を報告 ・秋にフィールドワークを実施する計画を立て、次回具体案を検討
第 3 回 定例会	9 月 30 日(日) 10:00~12:00 ハートフルスクエア G	・岐阜市消費生活展の出展内容確認 ・フィールドワーク「全国発酵食品サミット」参加へ詳細検討	・消費生活展のクイズ内容を検討 ・トークイベント申込方法を確認、中部支部への参加呼びかけを実施することとした。
第 4 回 定例会	10 月 28 日(金・祝) 13:00~15:00 メディアコスモス	・「デジタル社会と消費者の暮らし」八代英輝弁護士	・悪質商法や詐欺の手口をわかりやすく紹介され、防ぐ方法を考えることができた。
第 5 回 定例会	11 月 18 日(日) 10:00~16:00 カラフルタウン岐阜	・岐阜市消費生活展 成年年齢下げに関するクイズラリー	・消費者ネットワークと合同で参画。クイズを提供した。
第 6 回 定例会	11 月 26 日(日) 9:30~15:30 恵那市文化センター	・フィールドワーク 「全国発酵食品サミット」への参加	・ステージイベントの財前直見氏による発酵実践報告に感銘した。 ・全国多くの発酵食品に触れ、発酵のすばらしさを再認識した。
第 7 回 定例会	12 月 2 日(日) 10:00~14:00 ハートフルスクエア G	・2023 年度振り返りと追加活動の検討及び 2024 年度の展望についての話し合い ・岐阜駅前商店街（問屋町）のリノベーションカフェで昼食会	・間もなく始まる新NISAの勉強会を計画した。 ・岐阜駅前商店街の時代に伴う変化を感じ、今後の在り方を語る昼食会となった。
第 8 回 定例会	2 月 4 日(日) 10:00~14:00 ハートフルスクエア G	・新 NISA と投資の基礎知識勉強会 ファイナンシャルプランナー坂井武先生	・NISA の変更点だけでなく、資産運用の基礎をまとめて勉強できた。 来年度は深堀し継続していきたい。
第 9 回 定例会	3 月 10 日(日) 13:30~15:30 ハートフルスクエア G	・今年度の振り返り確認と来年度の計画	・メンバーの希望を出し合い、具体化を進めていくこととする。

次ページに活動の様子を 2 件掲載します。



観光農園はなのかファームにて
4月9日(日) 瑞穂市



全国発酵サミットにて発酵食品の試食
11月26日(土) 恵那文化センター

2023 年度を振り返って

新型コロナ5類移行を受け、対面開催を増やし、改めて対面での意義を感じた活動となった。フィールドワークでは全国大会のイベントが岐阜県で開催されたこともあり、広がりを感じられる体験でもあった。新メンバーの参加はなかなか増えない状況ではあったが、多くの学びと広がりを感じる1年であった。

2024 年度活動方針

メンバーの持ち味をさらに発揮し、幅広い活動を目指す。
自身の資質向上はもとより、人生を振り返りつつ、未来を拓く活動につなげたい。
様々な課題に取り組みつつ、メンバーの絆をさらに強固にしていきたい。

2023 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 橋宏和、副代表 片谷千恵子、会計 橋宏和

(2) 活動方針：

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広める。
- ・北陸分科会会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する。

(3) 行事内容

日時	場所	テーマ	実施内容
第1回定例会 6月10日(土) 11:00~15:00	福井県福井市 「一乗谷朝倉氏 遺跡博物館」	令和4年10月に新装オープンした福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館を訪問	当時の一乗谷での暮らしぶりに思いを馳せながら、生活上の問題等を消費生活アドバイザーの視点から考える。 参加者9名
第2回定例会 11月19日(日) 10:30~15:00	富山県富山市 「池田屋安兵衛商店」 「富山市ガラス美術館」	富山市内の名所を訪問し温故知新を体感する。	「池田屋安兵衛商店」での丸薬体験と、現代的な工芸に触れることが出来る「富山市ガラス美術館」を訪問し、テーマに沿った温故知新を体感。 参加者7名
第3回定例会 3月30日(土) 12:00~15:00	石川県金沢市 「八兆屋」	・2024年度北陸分科会運営方針及び分科会人事について協議 ・2024年度活動計画の策定	2024年度の分科会活動方針、及び分科会人事について協議・決定するとともに、会員相互の近況報告を行った。 参加者7名

2023 年度を振り返って

2022年度までは新型コロナウイルスの影響によりZoomによる定例会開催でしたが、2023年度は久しぶりにリアルでの活動ができました。

しかし、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、年4回を計画していた定例会が3回の開催となりました。

※当分科会でも能登半島地震により被害を受けた会員はいらっしゃいましたが、幸い人的被害はありませんでした。多くの方々から心温まる応援メッセージを頂戴いたしました。この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

2024 年度活動方針

2024年度は、2023年度と同様に、現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する活動を行います。

活動内容につきましては消費生活アドバイザーとしての知見を広げるとともに「参加して良かった」と思っていただけの内容とし、多くの会員に参加していただけるよう計画して参ります。

<活動方針>

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広める。
- ・北陸分科会会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する。

<活動組織>

代表	橋宏和（石川）	福井県代表	片谷千恵子
副代表	片谷千恵子（福井）	石川県代表	北川智重子
会計	橋宏和（石川）	富山県代表	川合芳明
代議員	橋宏和（石川） 任期：2年		

<定例会テーマ>

テーマ：古くから北陸各地に伝わる文化的価値がある伝統・創造の場を訪問し、地域の再発見に繋げるとともに、自ら体験・体感することにより、北陸の文化に触れ、北陸3県の良さを再認識する。

4. 各研究会より

研究会 ACT 2023-2024
2023 年度代表 花井 泰子
2024 年度代表 砂村 伊佐子

2023 年度活動報告

- (1) 会員数 : 5 名
 (2) 活動方針：暮らしに関わるさまざまな問題に対し調査・研究・提言することを目的として活動
 (3) 行事内容

行 事	開催日・場所	内 容	参加
4 月度定例会	4 月 19 日(水) 14:00~16:30 伏見ライフプラザ 11F サロン	・会計報告、提出書類確認 ・次回定例会のスケジュール確認	5 名
5 月度定例会	5 月 12 日(金) 10:00~16:00	フィールドワーク ・家康ゆかりの地を訪ねて	5 名
6 月度定例会	6 月 28 日(水) 14:00~16:30 伏見ライフプラザ 11F サロン	・7 月 13 日の「ACT de GO」の リハーサル	5 名
出前講座 ①	7 月 13 日(木) 13:30~16:00 コーヒー甚六	コーヒー甚六における 「ACT de GO」の実施	5 名
9 月度定例会	9 月 20 日(水) 13:30~15:50 伏見ライフプラザ 11F サロン	・サロン笑話会における 「ACT de GO」の練習 他	5 名
11 月度定例会	11 月 8 日(水) 9:30~11:50 伏見ライフプラザ 11F サロン	・ネーム入りポロシャツについて ・「ACT de GO」の練習 (2 か所) 他	5 名
出前講座 ②	11 月 20 日(月) 10:00~11:00 名東区社会福祉協議会	さろん♡すてっぷにおける 「ACT de GO」の実施	5 名
出前講座 ③	12 月 14 日(木) 13:30~14:30 名古屋市瑞穂区サロン笑話会	サロン笑話会における 「ACT de GO」の実施	5 名
出前講座 ④	2 月 5 日(月) 13:30~14:30 香流コミュニティセンター	香流コミセンにおける 「ACT de GO」の実施	4 名
3 月度定例会	3 月 13 日(水)14:00~16:30 伏見ライフプラザ 11F サロン	・C + 春号について ・次期代表と会計の選出 他	5 名
出前講座 ⑤	3 月 21 日(木)11:00~11:30 平和が丘コミュニティセンター	平和が丘コミセンにおける 「ACT de GO」の実施	3 名

※ 上記以外にも Zoom によるオンライン定例会を実施しました (5/30、8/9、10/11、1/24)

(4) トピックス

「消費者トラブルから身を守ろう -お役立ち隊 ACT de GO-」は、ACT オリジナルのポロシャツの新調で、活動がますます盛り上がりました。メインプログラムの「悪質商法の寸劇」に加え、参加者と一緒に楽しめるよう、「ご当地クイズ」「ダンス体操：マツケンサンバ」にも挑戦し、メンバーも楽しく活動しました。活動地域はこれまでの瑞穂区から名東区まで大きく広がりました。メンバーが揃わず 3 人での活動もありましたが、無事やり遂げて大きな自信となりました。出前活動の回数が増えるにしたがって寸劇の臨場感も増し、今後の活動がますます楽しみです。

2024 年度活動方針

メイン活動である「お役立ち隊 ACT de GO」の活動地域拡大に伴い、活動回数を増やし、レベルアップを目指していきます。2024 年度は、高齢者サロンの参加者の皆さんに、より楽しんでいただける新たなプログラムの作成とメンバーのスキルアップに励みます。秋にはフィールドワークも実施し、アクティブで充実した 1 年にしたいです。

2023 年度活動報告

(1) 会員数 : 22 名

(2) 活動方針：消費者の身近な話題や疑問からテーマを選定し、顧客満足の視点から企業、行政、消費者それぞれの問題点の抽出、対策の提案をおこなってゆく。

ここ数年は、名古屋市消費生活フェアにて、旬の話題を研究しブース展示を通して成果を展示する活動を進めています。また、年に 1 回、消費生活に関係する書籍を、会員内で選択し読書後、意見交換をしています。

(3) 行事内容：基本は、定例会を毎月第三土曜日午後開催、2023 年度はハイブリッド開催 (Zoom)

開催日	テーマと概要	参加者
4 月 15 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェア開催概要の共有と活動内容の検討 課題図書「世界で最初に飢えるのは日本」感想共有 	16 名
5 月 20 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 本年の名古屋市消費生活フェアについてテーマの検討を実施 本年度取り組み内容「食の安全保障」関連の話題共有 	15 名
6 月 17 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 「名古屋市消費生活フェア 2023」で展示する内容の検討、今後調べていきたい項目 (5 項目) を明確化した。 	16 名
7 月 8 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> フードバンク愛知様訪問 規格外品を集めて分配する物流会社様主体の NPO 団体 食品ロス削減や地域の社会貢献に役立っている様子などを見学 	13 名
8 月 16 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 「名古屋市消費生活フェア」での展示内容の検討 6 月の項目出しをもとに小グループ化して、各チームの検討内容と共通部分の内容を検討。各ポスターの役割分担を決定。 	17 名
9 月 16 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 各チームの検討実施と全体共有。 アンケートや粗品内容の検討を実施 	16 名
10 月 15 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 各チームの検討実施と全体共有。 アンケートや粗品内容の検討を実施 10/28 にでんでん村を訪問 	18 名
11 月 18 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアにブース出展し、開催中の運営実施 「食品ロス削減」をテーマに展示 	17 名
12 月 16 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市消費生活フェアアンケート分析結果の共有 でんでん村フィールドワーク内容の共有 課題図書の紹介 	16 名
1 月 20 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 課題図書「食糧危機という真っ赤な嘘」の配本 支部大会で鈴木先生にお話しいただきたい内容について検討 2024 年度代表人事の検討 	18 名
2 月 10 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会で鈴木先生にお話しいただきたい内容について検討 2024 年度の研究テーマについて検討 	14 名
3 月 16 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 課題図書「食糧危機という真っ赤な嘘」感想共有 	15 名

(4) トピックス

年間の取り組みテーマを、課題図書に選んだ「世界で最初に飢えるのは日本」に沿って飽食の時代と言われている昨今ですが、日本の食料自給率の低さが懸念されています。中国経済の台頭による買い負けや、コロナ化後の物流の混乱、ロシアによるウクライナ侵攻などによるブロック化などの中であって、これまで通り、食糧が日本に輸入されるのか？本当に大丈夫なのかを長いスパンで検討していくことにしています。その中で今年度は、世界情勢の変化で物価が上がってきつつある昨今でも、削減のスピードが鈍化している食品ロス削減について、暮らしの中でできる対策や、オンラインを使った賢い対策術などを名古屋市消費生活フェアで展示しました。本年は、静岡・三重分科会様からもフェアのご見学に来ていただき、盛り上がりました。

2024 年度活動方針

2023 年度は、今年と同じく名古屋市消費生活フェアの会場が栄のオアシス 21 での実施が決まっております。本年度の取り組みテーマは、引き続き食の安全保障を中心とした話題を掘り下げて研究していく予定です。

さあ、あなたも、私たちと一緒に活動してみませんか？あなたのご参加をお待ちしています。ご興味がありましたら ADCS@chuubu.nacs.or.jp までご連絡のほど、お願いいたします。

2023 年度活動の様様

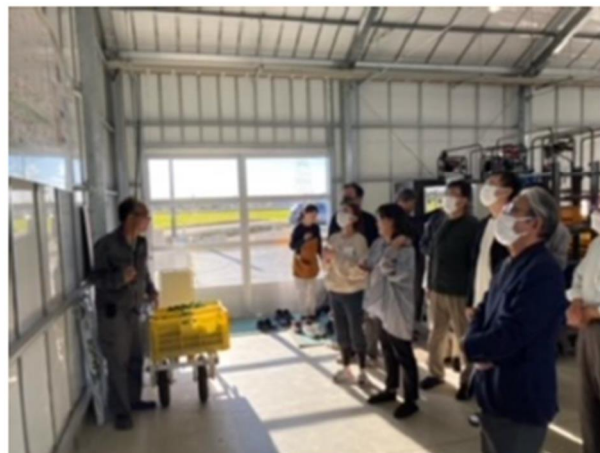
◎名古屋市消費生活フェア



◎フィールドワークとして「フードバンク愛知」様や「でんでん村」様を訪ねました。
「フードバンク愛知」様



「でんでん村」様



2023 年度活動報告

(1) 会員数 : 11 名

(2) 活動方針：身近な食生活の話題を取り上げ学習し、情報を発信、提言することを活動目的にしている。健康で楽しく豊かな食生活の為に、勉強会や講座等を開催している。

(3) 行事内容

行事	開催日・場所	内容	参加
定例会①	4月10日(月) 20:00~21:15 オンライン	役員引継、会計報告、 2023年度の活動テーマ「発酵」について	10名
定例会②	6月11日(日) 20:00~21:00 オンライン	「納豆の日」セミナーについて、 会員近況報告など	8名
勉強会	7月10日(月) 13:30~16:30 豊橋市公会堂	「納豆の日」セミナー 「発酵は力なり ~美・まち・健康~」	8名
東海農政局 セミナー	12月6日(水) 13:00~15:30 AP名古屋	野菜の消費拡大に関するセミナー 「伝統野菜で旬の食を楽しむ」	3名
東海農政局 セミナー	1月30日(火) 13:00~15:45 AP名古屋	エンカル消費に関するセミナー 「発酵の新たな魅力を考える」	3名
勉強会	2月10日(土) 10:00~15:00 豊橋名産濱納豆 國松本店 豊橋市内	「濱納豆講座」 講師：國松勝子様、國松千純様 「濱納豆特別ランチ」	5名
定例会③	3月27日(水) 20:00~21:00 オンライン	新役員選出、 2024年度の活動について	7名

※東海農政局セミナーへは、自由参加

(4) トピックス

- ・2023年度から新しく「発酵」を研究テーマにし、発酵・醸造業の盛んな東海地域の伝統的な食文化を理解、応援する活動に取り組んでいます。
- ・伝統食「濱納豆」を有する豊橋市の國松本店様のご厚意にて7月に「納豆の日セミナー」に参加。また、2月に「濱納豆講座」を受講しました。濱納豆（寺納豆、塩辛納豆）の歴史や、こだわりの伝統製法、伝統食を守り続ける熱意に触れ、愛知・日本が誇る食文化「発酵」について、より興味・関心が深まりました。

2024 年度活動方針

2024年度は引き続き「発酵」について活動する予定です。古くから伝わる「発酵」について学びを深め、発酵の正しい知識や、興味ある発酵食品についても探求していきます。

Ⅱ. 2023 年度予算執行状況

1. 収入の部

収入は昨年度に比べて約 3.3 万円の減額となりました。

なお、活動報告(P1)に記載した企業や行政と協働事業での収入は本部扱いのため割愛しました。

配分	2023 年度	2022 年度	差異	備考
会員基本割(266 名)	1,137,150	1,149,975	△12,825	会員減 3 名
賛助会員還元(4 社)	240,000	240,000	0	
事業収入	10,000	0	10,000	※) 損保勉強会開催助成金
特別収入	0	30,000	△30,000	日産協協力金
合計	1,387,150	1,419,975	△32,825	

※) 損保勉強会開催助成金は期中に受託した支部研修委員会の予算に上乗せした

2. 支出の部

約 12.8 万円を残す結果となりました。

予算区分	事業	予算:a	実績:b	差異 :a-b
支部共通	支部大会(報告資料印刷・郵送)	75,000	68,930	6,070
	支部郵便受付代行費	20,000	20,000	0
分科会 活動助成	静岡分科会	200,000	153,412	46,588
	三重分科会	120,000	89,200	30,800
	岐阜分科会	100,000	71,350	28,650
	北陸分科会	91,000	86,076	4,924
	予備予算	11,150	550	10,600
支部事業	自主研究会助成(3 研究会)	60,000	30,705	29,295
	広報委員会	30,000	0	30,000
	研修委員会	※1) 160,000	92,980	67,020
	事業委員会	140,000	195,713	△55,713
	会員活動委員会	30,000	2,896	27,104
	合格祝賀会交流会	30,000	6,486	23,514
	支部大会(講演会等)	100,000	142,900	△42,900
	総務委員会	220,000	297,000	※2) △77,000
	支部合計	1,387,150	1,258,198	128,952

※1) 期途中に受託した損保勉強会開催助成金(10,000 円)を予算に上乗せ

※2) 次年度支部大会の会場費(115,950)の前払いを含む

Ⅲ. 2024 年度運営方針、予算

1. 運営方針

NACS にとって「会員」が財産であり、「会員であることに満足」できる環境を整えることが支部運営の重点となります。そのため従来より、有益な情報提供や活躍場の提供に力を注いでまいりました。今年度は、支部会員が漸減しているという状況を踏まえ、一層の運営面での効率化と会員活動の盛り上げを図るため諸活動を進めてまいります。

(1) 会員活動の活性化

- ・日産協共催の資格者交流会等を活用した有資格者の入会促進…事業委員会
- ・新研究会発足のための啓発と支援…会員活動委員会

(2) ICT 活用による情報発信

- ・本部と連携した支部ホームページのリニューアル（掲載内容や管理方法見直）…広報委員会
- ・支部活動報告書のペーパーレス化…総務委員会

2. 予算

収入は昨年度に比べ約 8.5 万円の減額となりました。

また、支部関係の受託事業については確定段階で予算に追加いたします。

〈収入〉

配分	2024 年度	昨年度	差異	備考
会員基本割(239 名)	1,021,725	1,137,150	△115,425	注記 1
賛助会員還元(4 社)	240,000	240,000	0	注記 2
特別収入	30,000	0	30,000	注記 3 日産協協力金
合計	1,291,725	1,377,150	△85,425	

注 1) 支部会員数から昨年度会費未払い分が除かれています。

注 2) 賛助会員から退会企業が出た場合は途中で見直します。

注 3) 昨年度の日産協「活躍するアドバイザー」原稿の執筆者への謝礼に当てます。

〈予算配分〉

配分方法はこれまでと同様としましたが、会員割の大幅減により総額が減少しています。

- ・支部共通では年度活動報告書の会員郵送を電子配信に変更することによる予算削減。
- ・分科会活動助成は支部共通を除いた予算額に対し会員数(265 名：3 月末)から按分。
- ・委員会予算は昨年度実績を考慮し配分。
- ・研究会助成では新規研究会予算として 1 万円を計上。

総予算の減少で厳しい状況ですが、運用途中で融通し合いながら進めたいと考えています。

予算区分	事業	配分額	備考
支部共通	支部活動報告書(製本、発送)	30,000	電子配信化による削減
	支部郵便受付代行費	20,000	
	日産協「活躍する Ad」原稿謝礼	30,000	2023 年度の執筆者へ還元
分科会 活動助成	静岡分科会	192,000	会員 42 名:192,047
	三重分科会	114,000	会員 25 名:114,314
	岐阜分科会	96,000	会員 21 名:96,023
	北陸分科会	96,000	会員 19→21 名:96,023
	予備予算	13,725	他県在住会員 2→3 名
支部事業	自主研究会助成(3 研究会)	70,000	20,000/研究会+予備 10,000
	研修委員会	150,000	
	事業委員会	150,000	名古屋市フェア、資格者交流会等
	合格祝賀会交流会	10,000	
	支部大会(講演会等)	120,000	
	総務委員会	200,000	
	支部合計	1,291,725	

IV. 賛助会員・支部会員数

1. 支部関係賛助会員（五十音順）

愛三西尾法律事務所 株式会社アイシン 中部電力ミライズ株式会社
東邦ガス株式会社

2. 支部正会員 267名（2024年4月末現在）

愛知県 155名、三重県 25名、岐阜県 21名、静岡県 42名、福井県 9名、
石川県 5名、富山県 7名、東京都 1名、大阪府 1名、岡山県 1名

V. 2024年度運営体制 敬称略

◇運営委員（◎は委員長）

支部長 星野 不二雄
副支部長 北川 住江
会員活動委員会 ◎山中 みゆき・長澤 公子
広報委員会 ◎稲垣 隆信・中島 佳子・中山 好昭
研修委員会 ◎日向 淑子・伊藤 昌伸・恒川 日出美
学校教育担当 北川 住江（兼任）
事業委員会 ◎西田 敏明・山田 勲・河合 成信・皿井 進
総務委員会 ◎瀬古 昇一・上田 之道（兼 会計担当）

◇分科会代表・副代表

静岡分科会 河合 康成（副）山岡 美須永
三重分科会 陰地 康行（副）田中 睦
岐阜分科会 山田 圭子（副）清水 美和子
北陸分科会 橘 宏和（副）片谷 千恵子

◇研究会代表（設立順）

研究会 ACT 砂村 伊佐子
食生活研究会 水谷 陽子
AD・CS 研究会 杉浦 健実

◇代議員 9名（五十音順）

陰地 康行・河合 康成・北川 住江・清水 美和子・瀬古 昇一
橘 宏和・星野 不二雄・山岡 美須永・山田 圭子

この報告書に関するお問合わせ、ご意見等は、中部支部総務委員会まで。

Eメール soumu@chuubu.nacs.or.jp